

# 藤田学園 医学・保健衛生学 図書館ニュース

## 平成22年度の図書館統計

(平成23年3月31日現在)

### ・総蔵書数

和 書	111,740 冊
洋 書	90,336 冊
合 計	202,076 冊

### ・雑誌のタイトル数

和雑誌	410 種
洋雑誌	77 種
電子ジャーナル	504 種
合 計	991 種

### ・図書と製本雑誌の受入冊数

図書	2,768 冊
和雑誌	571 冊
洋雑誌	478 冊
合 計	3,817 冊

### ・相互貸借件数

学外への申込	2,774 件
学外からの申込	2,349 件
合 計	5,123 件

### ・文献検案件数

医学中央雑誌Web	29,156 件
Cinahl	62 件
Ovid Online	2,288 件

### ・電子ジャーナル利用件数

LWW	3,994 件
ProQuest Medical Library	1,671 件
ScienceDirect	19,212 件
Springer LINK	6,540 件
Medical Online (メディカル・オンライン)	64,625 件

### ・図書の貸出冊数

4 月	750
5 月	975
6 月	1,122
7 月	857
8 月	633
9 月	827
10月	1,078
11月	1,053
12月	854
1 月	859
2 月	588
3 月	432
合 計	10,028
月平均	836
日平均	33

(開館日数 300日)

### 図書館ガイダンスを実施しました！

4月から6月にかけて医学部、医療科学部、および看護専門学校の学生を対象に、以下の図書館ガイダンスをおこないました。

#### 1. 利用ガイダンス

主に1年生に向けた内容で、図書館の基本的な利用方法、簡単な蔵書検索(OPAC)の使い方をスライドで説明し、最後に館内をご案内する時間を取る形式で開催しました。

#### 2. 文献検索演習

主にレポート作成を始める2年生や卒論を控えた学生向けのガイダンスです。

PC教室を利用して、必要な論文を検索した後、取得するまでの手順とコツを解説、ご要望に応じて、図書館での文献入手までの演習もおこないました。

ともにガイダンスを受けた学生からの評判もまずまずで、判りやすいとお声を頂戴しました。しかしながら、まだまだ始めたばかりの試みのため、至らぬ点は早急に改善していきたいと考えております。

また、皆様の中でガイダンスをご希望の方がいらっしゃいましたら、お気軽に図書館までお申し付けください。ご利用を心よりお待ちしております。



ガイダンス風景



館内ツアーの様子

## 複写サービス

図書館では館内の資料の複写サービスを行っております。コピー機は現金用が入り口に2台（白黒）、研究費用がカウンターの奥に3台あります。

研究費用のコピーのうち1台はカラーコピーです。

コピー代は白黒1枚10円、カラーが1枚70円です。

ただし、著作権法によりコピーは図書館資料に限り、単行書は全頁の1/2まで、雑誌は文献単位での複写をお願いしております。

## 図書館内でのPC利用について

図書館では無線LANによって、館内の中央閲覧室であればどこからでもインターネットに接続することが出来ます。無線LANは館内に掲示してあるIDとパスワードを入力することによって使えますので、持込のPCで設定して使ってください。

また、各机に電源コンセントが設置してありますので、そちらもご利用ください。

## 図書館員が薦めるこの一冊

『これからの「正義」の話をしよう：いまを生き延びるための哲学』  
マイケル・サンデル著；鬼澤忍訳

アメリカの様々な背景を持つ、様々な人種の若者たちが教授のリードで「何を正しい行いとするか」について議論する講義の様子を映したテレビ番組「ハーバード白熱教室」（2010年放映）をご存知でしょうか。このハーバード大学史上最多の履修者数を記録しつつける、人気講義「Justice（正義）」をもとにまとめられた「Justice：What's the Right Thing to Do？」の日本語訳が本書です。

テロや戦後補償など実際におきた過去の事件や災害を例に、幸福・自由・美德（道徳）の3つの視点で、日常では深く考えることの少ない、何を正しいと感じて行動を選択するのかわかりやすく説明しています。

「ああ、判る」「うん？違うような気がする」等と読み進めるうちに、気がつけばその考え方が哲学だったのだと理解できる構成になっています。

ただ、哲学の思想や理論を理解するためではなく、本書第1章の末尾に『正義に関する自分自身の見解を批判的に検討してはどうだろう—そして自分が何を考え、またなぜそう考えるのかを見きわめてはどうだろう』とあるように、自分自身を整理するのに役立つ資料です。

日々、命に関わる仕事を志す皆さんだからこそ、土壇場で自ら支えてくれる“自分”を知るきっかけになるのではないのでしょうか。

（当館所蔵 分類番号 311）